農業で働くみんなと地域を幸せに

【類　　型】 水稲（飼料用米、WCS含む） ＋ カンショ ＋ ブロッコリー等

【組　織　名】 株式会社ながおか
（平成30年２月設立）

【所　　在】 高知県南国市

【農業地域類型】 都市的地域

【構成戸数・人数】58戸（57人及びＪＡ）

株主総会

【経営規模（令和６年度実績）】

水稲（主食用米）	0．7ha	水稲（飼料用米）	15．7ha
水稲（ＷＣＳ）	0．9ha	ブロッコリー	6．5ha
カンショ	1．8ha	ジャガイモ	0．9ha
オオカブ	0．5ha		

設立の経緯

○長岡地域でも農業の担い手が激減しており、地域農業の衰退の恐れがあるとの危機感から有志が中心となって平成29年に営農意向調査を行った。
○各集落で座談会を開催し、将来の地域農業について話し合った。
○優良農地の有効利用と新規就農者等の担い手の確保・育成に向け　て、平成30年２月に地域の農家等で集落営農法人を設立し、水稲・露地野菜等の経営により、地域の方々の働く場と雇用を生み出し、地域農業の維持発展を図っていくこととなった。

取組の特徴・効果

○農地中間管理機構等を通じて法人に農地集積を行い、効率的・安定的に集落の農地を守る担い手として動き始めている。
○有利な補助事業を活用して農業機械を整備し、低コスト・省力化による経営安定を目指している。
○冬期は水稲刈取後の農地を活用してブロッコリーを栽培し、若者や地域での雇用を実現している。
○ブロッコリーは、発泡スチロールメーカーと連携し、契約販売を実施している。

【具体的な取組内容】

長岡地域の集落営農の目指すもの
…交流の場、共に働く場

多くの団塊の世代の頑張りが地域を創る

新規就農者

移住者

ベテランと共に法人で働く

交流の場

働く場

地域社会

各自の体力に応じた働き方

部落・地域の世話

兼業農家

リタイヤ農家

担い手農家

高齢者

働いて交流して健康な老後を過ごす

◎新しい営農システムの導入

- みんなが働くことを可能にする作物別作業工程管理
- 高レベルの機械化やシステム化
- 生産履歴システム、ほ場管理システム

支援

ＪＡグループ、南国市、高知県

露地野菜の先進地視察(大月町)

水稲後作のブロッコリー

機械を使ったカンショの収穫作業

導入機械
トラクター（25PS×１台、57PS×２台）、肥料散布機（コンポキャスター）、フレールモア、田植機、コンバイン、乗用管理機（ハイクリビーム(タンク容量500L)）、ドローン（T25）、ブロッコリー移植機、カンショ移植機、ジャガイモ移植機、カンショつる刈り機、カンショ収穫機（ポテカルゴ）

【課題・今後の取組】

〇水稲と露地野菜の低コスト・省力化や栽培技術の向上とともに、肥料農薬等の資材高騰及び人件費増に見合う取引条件の改善

〇移住者や新規就農希望者を地域で受け入れられる体制の構築